

補助事業番号 21-25

補助事業名 平成 21 年度流通システムの情報化推進等補助事業

補助事業者名 財団法人 流通システム開発センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

急速に発展する IT 技術を活用して流通システムの高度化を図るため、電子タグ、標準 EDI 推進等流通業におけるシステム化の課題について調査研究を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 具体的な実施内容

①流通情報システム化動向調査

小売業を対象とした調査で、各社の POS システム、オンラインデータ交換、商品コード、取引先コード等の利用、物流用 ITF コードの利用など流通インフラの普及状況と情報システムの実態についてアンケート調査を実施し、グランドトータル集計と小売業業態別集計の結果を分析した。

②中小商業者の機能強化と地域活性化につながる共同事業調査

商店街を中心としたまちづくりにおける情報システム化の現状を把握し、今後のまちづくりにおけるシステム化支援の参考とするため、各地のまちづくりにおける商店街と他セクターとの連携事業に係る先進事例の紹介を、平成 21 年 11 月に東京において「地域活性化と中小商業者の機能強化フォーラム 2009」として実施。具体的には、自治体、大学、第三セクター、地域振興組織と商店街の連携事例を報告した。

③流通情報システム先進調査事例

流通システム化に関して先進的な取り組みを行っている事業者あるいは団体等へ調査研究で取り上げた事例に関して取材協力・調査を行い、いくつかの事例に関しては事例調査内容の公開に関しても了解を得ることができた。そして類例の少ない事例紹介資料等を整理し取り纏めた。

④電子タグ利用による情報ネットワークシステムの運用範囲の拡大研究

研究委員会を設け、RFID タグの技術動向や先進的なアパレル業界の活用動向、海外の導入状況や今後の課題などについて、6 回の委員会において調査研究を行った。また、日用品雑貨化粧品業界においても、引き続きこの研究会の下にサブワーキングを設け、電子タグ導入ビジネスモデル等についての検討を行い、本格的な導入に向けて実証実験を行った。

⑤流通業界の標準EDI推進に関する調査研究

流通 BMS 事例調査で訪問・調査した内容を「概説流通 BMS」にまとめ、平成 21 年 10 月から 12 月にかけて全国 5 都市で開催した説明会で活用した。また、流通 BMS 普及や導入を検討している企業への活動支援のためのフォーラムを平成 21 年 11 月に東京で開催し、流通 BMS 関連のソフトウェアや ASP サービスの展示会を併催した。

2. 予想される事業実施効果

これらの調査研究成果を基にした流通情報システム化の促進及び普及啓発によって、各企業の情報システムの導入や利活用が促進され、情報関連機器の普及及び需要の増加が期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

[2009年度流通情報システム化実態調査報告書](#)

[2009年度中小商業者の機能強化と地域活性化につながる共同事業調査報告書](#)

[2009年度流通情報システム先進事例調査報告書](#)

[RFID利用による情報ネットワークの適用範囲の拡大調査研究報告書](#)
[RFIDシステム導入ガイドライン](#)
[概説流通SCM](#)

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名称： 財団法人 流通システム開発センター(リュウツウシステムカイハツセンター)
住 所： 107-0052
東京都港区赤坂 7-3-37 プラス・カナダ内
代表者名： 会長 辛嶋 修郎(カラシマ シュウロウ)
担当部署： 総務部(ソウムブ)
担当者名： 課長代理 木下 政章(キノシタ マサアキ)
電話番号： 03-5414-8500
FAX 番号： 03-5414-8509
E-mail： kinosita@dsri.jp
U R L： <http://www.dsri.jp>